

=====

学会情報：新規入会・お知らせ・投稿・イベント等のご案内

=====

■新規入会のご案内■

- ・ウェブサイト上からご入会できます。会費は年度制（4月～翌3月）です。
新年度からの入会希望の方はこちらから。
<http://www.nkg.or.jp/mypage/nyukai>

ご不明な点は下記へお問合せください。

会員サービス係 Tel：03-3262-4291 E-mail：kaiin@nkg.or.jp

* 担当者がテレワーク等で事務所不在にてお返事が遅れることがあります。

・賛助個人会員入会のご案内

2021年度より賛助個人会員の会費が1口1万円に減額となりました。

<http://www.nkg.or.jp/news/12941>

・賛助団体会員リンク集

<http://www.nkg.or.jp/ippan/sanjo>

■お知らせ■

・ウクライナ情勢に関する本学会の声明

http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/20220308_seimei.pdf

・2021年度日本語教育学会 各賞受賞者・受賞論文の発表

<http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/04/2021-jusyo.pdf>

・日本語教育学会 Facebook <https://t.co/FCSBmkfR2q>

・日本語教育学会ツイッター <https://twitter.com/NKGkouhou>

※日本語教育関連の報道情報については、上記ツイッターで
毎月2回（1日・15日頃）配信していますので、ぜひご覧ください。

・学会誌『日本語教育』ツイッター <https://twitter.com/NKGgakkaiishi>

・日本語教育学会パンフレット <https://bit.ly/2LwyF5K>

・他団体様の日本語教師募集情報は弊社サイト内でご案内しております。

<http://www.nkg.or.jp/boshu>

・各種催しの新型コロナウイルス感染拡大の影響について

日本語教育学会主催各行事の開催可否については、慎重に検討を進めております。決定事項は、逐次、学会ウェブサイトにてお知らせいたします。なお、中止等の場合も、参加者が自身で手配された旅費・宿泊費等のキャンセル料等につきましては弊会では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■刊行■

・学会誌『日本語教育』181号 発行

<閲覧・購入について>

◆2017年度刊行分以降の掲載論文の要旨（和文・英文）は無料公開中です。

掲載論文本体についても、会員でない方も閲覧・購入が可能ですので、ぜひご利用ください。

<http://www.nkg.or.jp/kenkyusha/keisainaiyo>

◆176号～181号の掲載論文は、マイページからダウンロード可能です。

<https://m4.members-support.jp/NKG/>

本年度会費の納入が完了している会員の方は、無料です。会員でない方もマイページで「新規ユーザ登録」（無料）をしていただければ、以下の価格にてご購入いただけます。

1論文あたり：550円（税込）、1号あたり：2,750円（税込）

※いずれも決済時に別途手数料が必要です。

◆141号以降、刊行後2年を経過した掲載論文はJ-STAGEで閲覧可能（無料）です。

但し、執筆者からの公開許可を得たものが対象となります。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/nihongokyoiku/-char/ja/>

◆冊子版の購入方法（会員・非会員共通）：

全国の書店よりご注文いただくか、株式会社凡人社の麹町店または通信販売（送料別途）にてお求めいただけます。冊子版の価格は、以下のとおりです。

166号以降：3,800円＋消費税／『日本語教育』165号まで：2,500円＋消費税

<掲載論文（収録順）>

【特集】これからの日本語教師に求められる資質・能力とは何か

〔寄稿論文〕

公的日本語教育を担う日本語教師に求められるもの（神吉宇一）

日本語教師に求められるリサーチ・リテラシー

—米国の日本語教育の視点から—（森美子）

日本語教育の現場で求められる対応力

—子どもを対象とする日本語教育・支援現場で—（齋藤ひろみ）

日本語教育の現場で求められる対応力

—就労者の現場を中心に—（品田潤子）

日本語教師のキャリアアップのために求められる能力

—初任から中堅、そしてよりよい中堅へ—（平山允子）

〔研究論文〕

日本語教育人材を育成する教師教育者
—日本語教師教育者ネットワークの活動から—
(嶋津百代・北出慶子・杉本香・中谷潤子)

〔調査報告〕

育成可能性からみる「態度」概念の再整理
—「日本語教育人材に必要な態度」をめぐって— (宇佐美洋)

【一般投稿】

〔研究論文〕

人称表現における複数性と不定性—「人々」の誤用をめぐって— (牧彩花)

■投稿募集■

- ・【8/20 締切】学会誌『日本語教育』184号特集テーマ決定
<http://www.nkg.or.jp/news/15459>

■助成募集■

- ・【5/31 締切】2022年度日本語教育グローバル人材奨励プログラム募集
http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/2022global_poster.pdf
※説明動画はこちら <https://youtu.be/vzuiuEoNSaYI>

■発表募集■

- ・【5/16 締切】九州・沖縄支部集会／北海道支部集会「交流ひろば」出展募集
<九州・沖縄支部集会>
開催日：7月2日(土) 会場：筑紫女学園大学(福岡県太宰府市)
<北海道支部集会>
開催日：7月9日(土) 会場：北海道大学(北海道札幌市)
※会員・非会員を問わず応募できます。
※現時点では久々の対面開催を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染状況によって後日オンラインに切り替わる場合もありますのであらかじめご了承ください。
<http://www.nkg.or.jp/jissensha/shibushukai>

■参加募集■

- ・【5/10 締切】春季大会プログラム公開・有料プログラム事前参加登録受付中
日時：5月21日(土)・22日(日) オンライン開催
参加費：5,000円(一般), 3,500円(会員), 2,000円(会員で学生証提示のある方)
<http://www.nkg.or.jp/news/15411>

<有料プログラムはこちら>

口頭発表／ポスター発表 ※今回はパネルセッションはありません。

日時：5月21日(土)・22日(日) 詳細は下記プログラムをご参照ください。

<http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/22springprogram.pdf>

各種説明会

日時：5月21日(土) 14：40-15：20／5月22日(日) 12：40-13：20

【5/18 締切】大会参加オリエンテーション「わかばさんいらっしゃい」

日時：5月21日(土) 12：00-13：00

Youtubeにて動画公開中(どなたでもご覧いただけます)

<https://youtu.be/CdoJc6jeGtE>

【5/6 締切】センパイとの対話の場「ぶらさ da わかば」

日時：5月22日(日) 12：30-13：30

http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/2022spring_praca.pdf

<無料プログラムはこちら> ※無料プログラムは事前参加登録不要です。

一般公開プログラム「日本語から広がるライフキャリア形成－世界を、日本語と生きる－」

日時：5月21日(土) 10：00-12：00

http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/02/2022spring_special.pdf

日本語教育研究・実践ネットワーク (Net-J) 研究会紹介ブース

日時：5月21日(土) 12：00-13：00

賛助団体会員出展ブース

日時：5月21日(土) 15：30-17：20／5月22日(日) 11：00-14：00

・【5/22 締切】発表応募支援セミナー・個別相談

日時：5月29日(日) 10：00-12：00 オンライン開催

要事前申込・参加費無料

<http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/04/220529osekkai.pdf>

=====
NKGメールマガジンへの情報提供
=====

日本語教育学会広報委員会 kouhou-iinkai@nkg.or.jp までお願いします。

内容確認等の上、メールマガジンに掲載します。

締切は毎月20日、配信は1日が基本です。

<講読詳細> <http://www.nkg.or.jp/mailmagazine>

<登録・解除> <http://www.nkg.or.jp/pdf/merumaga/toroku.pdf>

<問合せ> kouhou-iinkai@nkg.or.jp

<フォント>このメールマガジンは、等幅フォントでご覧ください。



<発行者> 公益社団法人日本語教育学会 <http://www.nkg.or.jp/>

<編集者> 広報委員会

<発行年月> 2022年5月1日

